

## 【ファシリテーターの活動状況】

### 第5回地域包括ケア専門職“絆研修③看取りの時期「終末期の支援」

- 日時 令和3年2月28日(日) 9:15~12:15
- 場所 オンライン研修
- ◎ 研修参加者 32名 : 6グループ
- ◎ ファシリテーター 7名
- ◎ プレゼンター 3名(ファシリテーター兼務)

※2回目となる完全オンラインでの開催となったシリーズ③看取りの時期「終末期の支援」に向け、ファシリテーター、プレゼンター、研修支援WG委員による3回の打ち合わせ会を行い、研修会にのぞみました。



### 【プレゼンテーション】

- ◆地域包括ケア(鳥取市長寿社会課橋本参事)



◆アイスブレイク・ワーク①・人工的水分、栄養補給について(研修ディレクター足立誠司医師:鳥取市立病院)

◆ワーク②・在宅死に影響する要因(山根綾香看護師:鳥取市立病院)

### 在宅死に影響する要因

- ・ 退院8日以上前に在宅ケアチームに紹介
- ・ 病院スタッフから患者・家族への在宅での療養・看取りに向けて退院することの説明
- ・ 退院後に訪問診療医、訪問看護師のケアを24時間受けられる体制
- ・ 患者・家族が在宅での看取りを希望している
- ・ 患者・家族が臨死期の経過について十分説明を受けている
- ・ 患者・家族が疼痛マネジメントについて訪問看護師から説明を受けている
- ・ 在宅療養中の家族の精神的苦痛が少ない
- ・ 家族が点滴や排泄ケアを介助できる

緩和ケアレジデントマニュアル2016  
15



◆ACP等・まとめ(研修ディレクター足立誠司医師)

## 研修会、お疲れさまでした 修了証をご確認ください

3回シリーズを全て修了された方には、缶バッチ贈呈



59



【ファシリテーター】

◆ブレイクアウトルームでのグループワークの進行

1. ファシリとして良くできたと思うこと、このままやっっていこうと思うこと

- ・参加者同士の意見交換を促せたこと
- ・参加者全員が意見を言えるように声をかけた
- ・参加者の緊張をほぐせる様な声かけをした。
- ・いつもよりうなずきや笑顔等のリアクションを大きめにして、zoomでも話してもらいやすいようにした。
- ・書記の記録中、〇〇ですねと要約するように努めた。
- ・それぞれの立場の意見を尊重しながら合意形成を目指すことを意識してすすめるよう心がけた。
- ・医療・介護両側からの意見を引き出すように意識した。
- ・記録者が記録しやすいように、復唱・間をとるなど意識した。

## 2. ファシリとして今後努力を要すること、やり方を変えてみようと思うこと

- ・話が深まり、広がるような投げかけ(質問)をすること
- ・適切な言葉選びをすること
- ・1回目のグループワークでは意見交換、まとめなどの時間配分が適切でなかったため、タイマーの位置を説明するなど、グループ全体に時間管理への意識を促すなど取り組みたい。
- ・出た意見に対して、他の参加者の意見を聞いたり、議論を深めることはあまりできなかったため、今後の課題としたいです。
- ・オンラインでの研修で、双方向のやり取りとなるようにプレゼンを工夫する。

## 3. 研修参加者にとってよかったこと

- ・介護・医療それぞれ違う立場での考えを聞いたこと
- ・経験豊富な方の考えや経験を聞いたこと
- ・①グループの割り振りが的確、②運営サイドの手際の良さ、③スタッフの熱意と主体性の3点
- ・事例を通して、日ごろそれぞれの立場で大切にしていることを共有できたこと。
- ・オンライン研修でも、身近な事例を通して経験談を伝え合う等、会って意見交換するのと変わらないと感じました。
- ・自分のパソコンを目前に講義(資料)が展開するので、見やすく、頭に入りやすいと思います。
- ・オンラインでは相槌を体動で大きく表現する、その発言の機会を伺いがちですが、司会者の相槌や発言の促しが適切にあったので、安心して参加できたと思います。
- ・様々な経験年数・職種のグループでの意見交換ができた。
- ・GWの人数と時間配分、またメンバーの構成、職種や経験年数が上手くバランスがとれており良かった。
- ・メンバーから質の高い意見が出て、参加者の学びに繋がりました。
- ・参加者それぞれの専門性や経験を活かした議論ができ、新たな気づきや共感を得ることができた。
- ・オンラインに不慣れな人にも操作が分かりやすいように説明されていて、安心して参加できた。
- ・会場で参加するよりも、お互いの意見が聞きやすかったと思う。

## 4. 研修参加者にとって良くなかったこと

- ・iphoneなどスマホで参加されている方は、配布資料で大体のスライドは問題ないのですが、記録・発表用は見えづらいかもしいないと思いました。(思ったよりスマホを使われているような印象を受けました)
- ・ネットで行うことにより、経験年数の多い方や知識のある方から、臨床場面でのアドバイスなど雑談をする機会が設けられなかったこと。会場で行っている際は、積極的にコミュニケーションをとれる可能性があると思いました。

## 5. その他(感想・意見)

- ・参加者から研修の機会がないという声もあり、このような研修会が貴重な機会であり、コロナ禍もありますが、来年度も期待されていると感じました。
- ・初学者むけの研修ですが、今回は看取りの場面に詳しく経験豊富な医師や看護師が参加しておられ、現場経験からの質の高い意見があり非常によい学びに繋がりました。
- ・初学者と経験者、また職種のバランスがちょうどよく参加者が集まるとよりよい研修になるなあと感じました。

- ・困難な状況でも前に進もうとされている医療・介護従事者の皆さんから良い刺激を受けました。
- ・多くの医療介護の従事者がおられる中で、様々な観点から一緒に考えることができる貴重な機会であり、出会いであると思いました。足立先生の「このような文化を作っていくということが、少しずつでも、この地域ですすんでいけたらいいですね」というメッセージが心に残りました。

